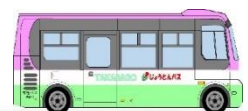


じょうとんバスの報告について

目次

- 報告1 新庁舎オープンに伴うバス停の位置変更について・・・1 ページ
- 報告2 1日無料乗車券の使用状況について・・・2～3 ページ
- 報告3 第6回再編後1年間のじょうとんバス運行実績について・・・4～10 ページ
- 福祉部報告**
- 報告4 高砂市高齢者福祉タクシー料金助成事業の拡充について(案)・・・11 ページ

高 砂 市



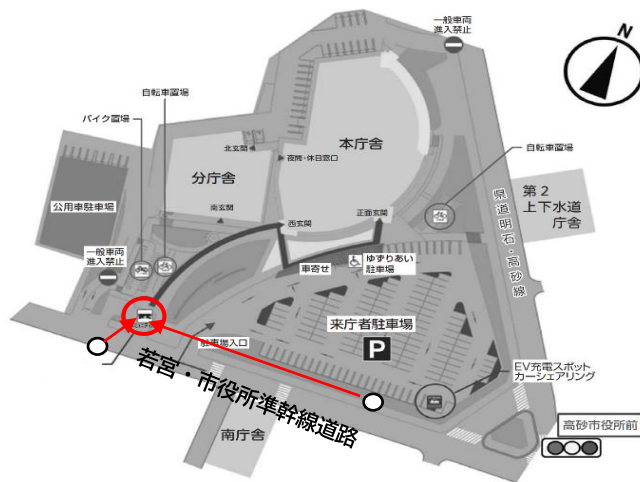


じょうとんバスを利用した朝の通勤風景 JR 宝殿駅にて

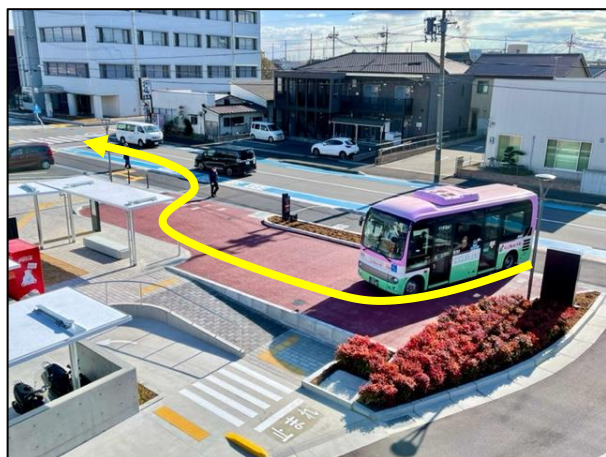
報告1 新庁舎オープンに伴うバス停の位置変更について

庁舎建て替えのため、「高砂市役所」バス停を暫定的に市道若宮・市役所準幹線道路上に2カ所設置していたものを、新庁舎のグランドオープンに合わせ、令和4年12月26日（月）より庁舎敷地内コミュニティバス専用ロータリー内に移動し、正式運用を開始。

なお、当ロータリーに乗り入れるのは、11系統（米田西ルート ふれあいの郷生石～JR宝殿駅～緑丘～山陽高砂駅）、31系統（曽根高砂ルート JR曽根駅～山陽曽根駅～松陽中学校～山陽高砂駅）の2系統。



令和4年12月26日撮影



報告2 1日無料乗車券の使用状況について

1 夏休み子ども1日無料乗車券

- ・使用期間 令和4年8月1日から同月31日
- ・対象者 子どもを含む同伴者全員
ただし、子どもの乗車が必須
- ・配布方法 広報たかさご8月号に添付
- ・無料券使用枚数 94枚
- ・交換枚数 253枚

小人	128枚
大人	125枚
合計	253枚



2 「敬老の日」「バスの日」1日無料乗車券

- ・9月19日は敬老の日、9月20日は「バスの日」
- ・使用期間 令和4年9月1日から同月30日
- ・対象者 全市民
- ・配布方法 広報たかさご9月号に添付
- ・無料券使用枚数 1,101枚 (=交換枚数)

	乗車人数	車内発行枚数	うち無料券	うち車内販売数	車内販売平均枚数
R4/4	8,071	1,009	0	1,009	① 1,076
5	7,914	1,086	0	1,086	
6	8,848	1,116	0	1,116	
7	8,806	1,168	0	1,168	
8	8,676	1,254	253	1,001	
9	9,240	1,748	② 1,101	647	1,178
10	8,804	1,153	0	1,153	
11	8,686	1,207	0	1,207	
12	8,452	1,173	0	1,173	



3 効果と今後

○夏休み子ども1日無料乗車券

子どもの使用枚数が128枚という数字だけを見れば、子どもがじょうとんバス（以下「バス」という。）を体験した効果は小さかったが、潜在的な新規利用者の存在を確認することができた。

原因の一つとして、無料乗車券を使用して親子で楽しめる目的地の案内をしなかったことが考えられる。

○「敬老の日」「バスの日」1日無料乗車券

使用枚数は1,101枚。過去5カ月の1日乗車券販売平均枚数と比べると、表中①と

②がほぼ同数であり、普段1日乗車券を購入しているバス利用者が無料乗車券を使用したと考えられる。

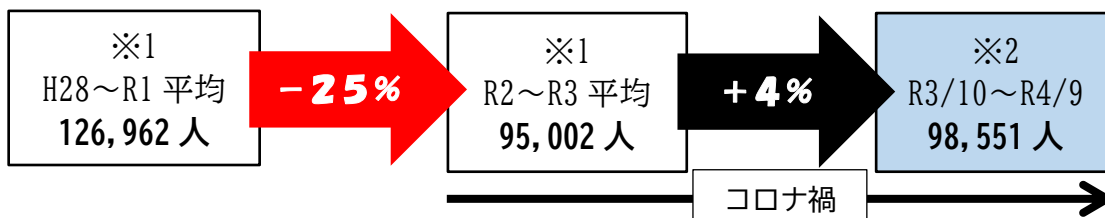
しかし、無料乗車券を除く車内販売枚数が647枚あり、当月前後のバス乗車人数及び車内販売枚数に顕著な変動がないことを勘案すると、無料乗車券使用者の同伴者が1日乗車券を購入して新規にバスを利用したとも考えられ、一定の効果はあったものと考えられる。

○配布方法

バスの利用機会創出の観点から今後も無料乗車券の配布は必要と考えるが、配布の方法として単に広報たかきごに添付するのではなく、各種集会等への参加に対するインセンティブとして配布し、無料乗車券を利用した目的地の案内もすべきと考える。

報告3 第6回再編後1年間のじょうとんバス運行実績について (令和3年10月～令和4年9月)

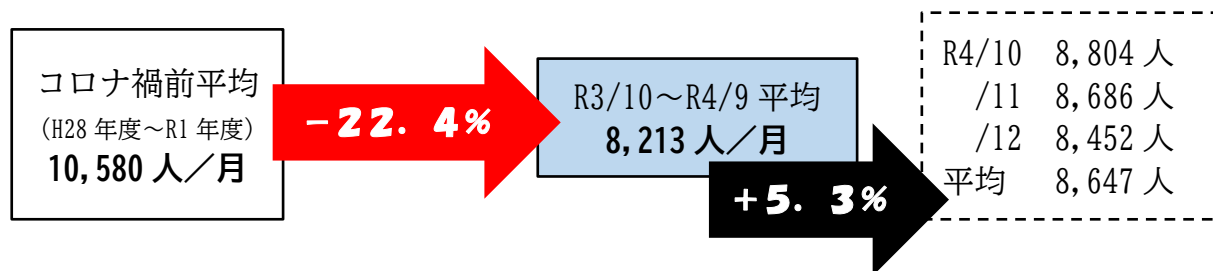
1 1年間の乗車人数 98,551人



※1は年度、※2は年度またぎの1年間

2 月あたり平均乗車人数 8,213人

5台運行を実施した平成28年度からの比較

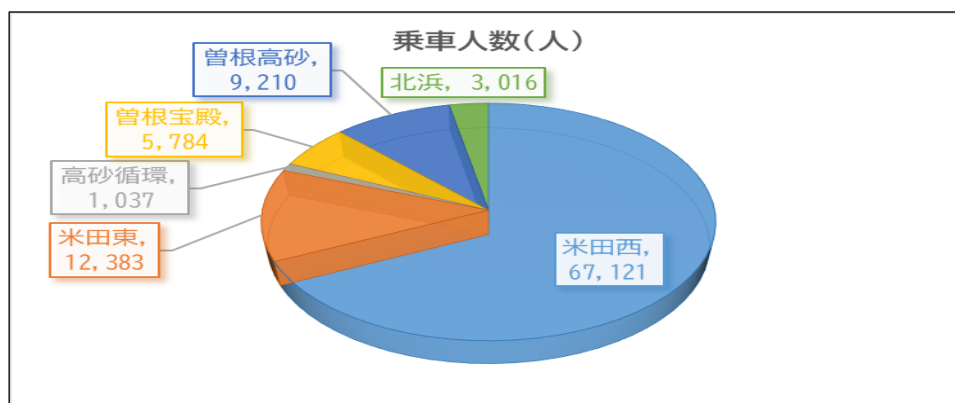


3 ルート別乗車人数 7、8ページ【現行路線図】もあわせて参照

ルート	米田西	米田東	高砂循環	曾根宝殿	曾根高砂	北浜
乗車人数(人)	67,121	12,383	1,037	5,784	9,210	3,016
割合(%)	68.0	12.6	1.1	5.9	9.3	3.1

80.6%

目標乗車人数(人)	99,600	16,200	2,300	9,700	8,100	6,100
-----------	--------	--------	-------	-------	-------	-------



【参考】

コロナ禍の第1系統通勤時間帯における乗車人数の変動

【JR 宝殿駅⇄緑丘⇄山陽高砂駅】

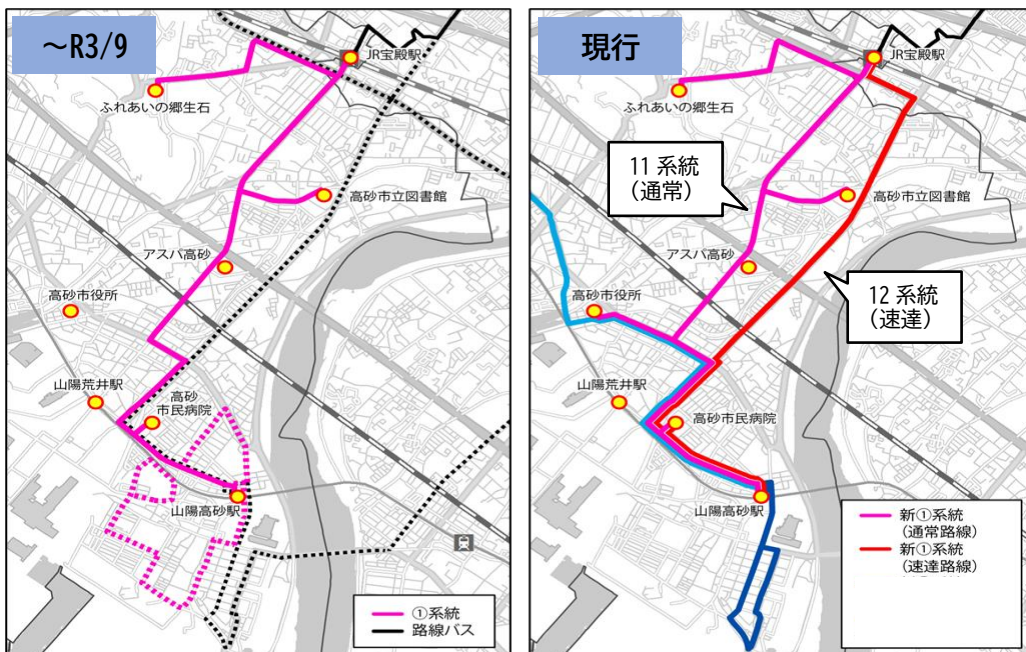
通勤時間帯：6時～9時、17時～20時の間

※R4年度上半期（R4/4～R4/9）を単純に2倍したもの

単位：人

	平時	コロナ禍	
	H28年度～H31(R1)年度 平均	R2年度～R3年度 平均	R4見込※
6時～9時 山陽高砂駅⇒JR宝殿駅	10,033 100%	7,802 -22.2%	8,850 13.4%
6時～9時 JR宝殿駅⇒山陽高砂駅	13,780 100%	10,174 -26.2%	11,098 9.1%
17時～20時 山陽高砂駅⇒JR宝殿駅	8,025 100%	6,038 -24.8%	5,532 -8.4%
17時～20時 JR宝殿駅⇒山陽高砂駅	6,191 100%	5,562 -10.2%	5,894 6.0%
全便合計	38,029 100%	29,576 -22.2%	31,374 6.1%

第1系統 路線図



神戸新聞記事（令和4年11月18日付）

2021年に首都圏で発売された鉄道の通勤・通学定期券は15年と比べ28・4%減ったことが17日までの国土交通省調査（速報版）で分かった。近畿圏は23・8%、中京圏は18・2%のマイナスだった。国交省は、いずれも1960年の調査開始以降「近年にない減少率」としている。新型コロナウイルス禍により、在宅勤務や大学などのオンライン授業が増えたためとみられる。

鉄道定期券 近畿23%減少

21年 在宅勤務、遠隔授業増で

はコロナ禍で1年延期した。今回は21年12月に実施し、調査時点で有効な定期券の枚数を集計。首都圏は637万枚、中京圏は72万枚、近畿圏は231万枚だった。うち通学用は首都圏107万枚、中部圏24万枚、近畿圏48万枚で、通勤用より販売の落ち込みが目立った。

新型コロナウイルスでは、テレワークを導入したり、通勤日数を減らしたりする動きが拡大。通勤定期券代の支給をやめ交通費の実費精算に切り替えた企業もあった。大学や短大などは、登校の必要がないオンライン授業が増えた。

前ページの通勤時間帯乗車人数の減少率（22.2%減）とほぼ一致する。

【現行路線図】

⑪米田西ルート



⑫米田東ルート



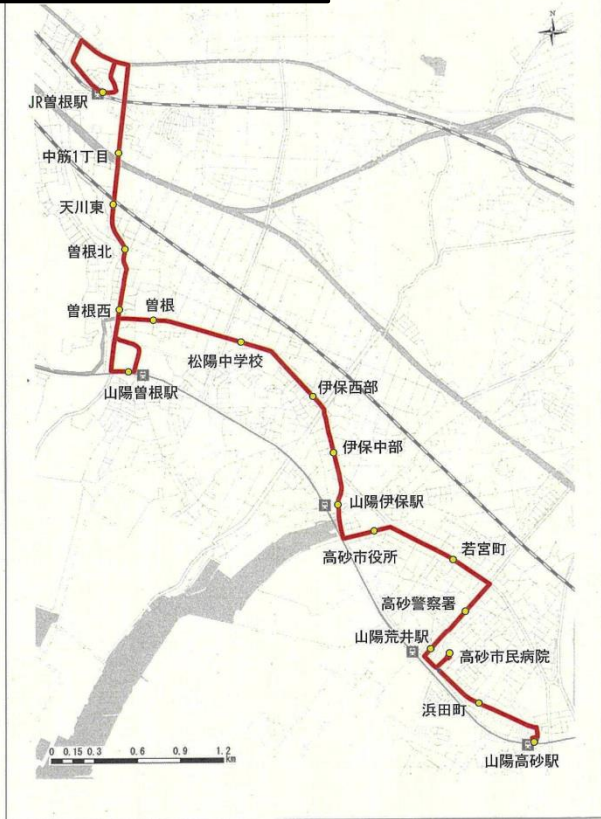
⑬高砂循環ルート



⑭曾根宝殿ルート



③ 曾根高砂ルート



④ 北浜ルート



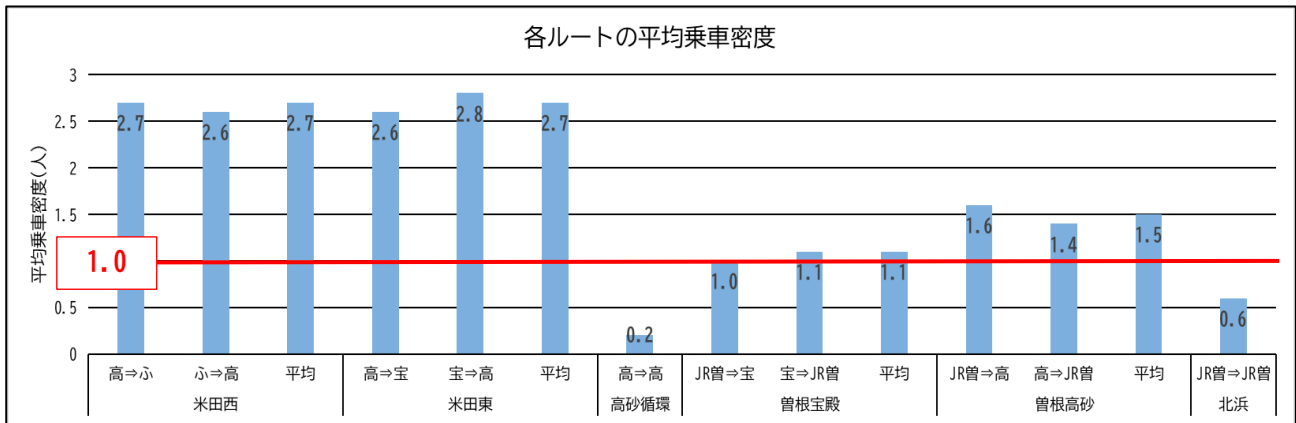
4 ルート別平日1便あたり乗車人数

ルート	米田西	米田東	高砂循環	曾根宝殿	曾根高砂	北浜
乗車人数(人/便)	5.9	3.9	0.4	2.0	3.3	1.3

5 ルート別平均乗車密度

平均乗車密度とは

- ・バスの起点から終点まで平均して**常時**何人乗車しているかを示す指標
- ・平均乗車密度が「1」未満の場合、多くの区間で利用者がいない状態、いわゆる「**空気を運んでいる**」状態である。



6 ルート別行政負担額及び収支率

ルート	米田西	米田東	高砂循環	曾根宝殿	曾根高砂	北浜	全体
運行経費(千円)	40,021	7,566	3,026	7,490	11,727	5,826	75,656
運賃収入(千円)	9,589	1,773	147	820	1,305	428	14,062
行政負担額(千円)	30,432	5,793	2,879	6,670	10,422	5,398	61,594
収支率(%)	23.96	23.43	4.86	10.95	11.13	7.35	18.59

7 ルート別利用者1人あたり行政負担額

ルート	米田西	米田東	高砂循環	曾根宝殿	曾根高砂	北浜	全体
行政負担額(人/円)	453	468	2,776	1,153	1,132	1,790	625

8 乗降者数の多いバス停（平日1日あたり トップ10）

順位	ルート	バス停	乗降者数 (人)	順位	ルート	バス停	乗降者数 (人)
1	米田西	JR 宝殿駅	141	6	米田西	図書館	25
2	米田西	緑丘	71	7	米田西	市民病院	25
3	米田西	山陽高砂駅	51	8	米田西	市役所	21
4	米田東	JR 宝殿駅	38	9	米田西	塩市橋	20
5	米田西	山陽荒井駅	36	10	米田東	山陽荒井駅	19

9 乗降者数の少ないバス停（平日1日あたり ワースト10）

順位	ルート	バス停	乗降者数 (人)	順位	ルート	バス停	乗降者数 (人)
1	米田東	島公会堂	0.0	8(4)	高砂循環	宮前町	0.3
2	米田東	ふれあいの郷生石	0.1	9(5)	北浜	天神橋	0.3
3	米田東	総合運動公園	0.1	10(6)	北浜	西浜北	0.4
4	米田東	島	0.2	11(7)	北浜	西浜南	0.6
5(1)	高砂循環	清水町	0.2	12(8)	高砂循環	南本町	0.7
6(2)	北浜	大塩町	0.2	13(9)	曾根高砂	浜田町	0.7
7(3)	高砂循環	北本町	0.3	14(10)	高砂循環	高砂神社	0.8

米田東ルートの一部は、乗務員（運転手）の休息及びバスの転回のために、ふれあいの郷生石を起終点としている。

10 まとめ

- ・①米田西、②米田東（新設）ルートは、JR 宝殿駅と山陽高砂駅を結び、通勤通学及び商業施設での買い物に利用され、この2路線で利用者全体の8割を占めていることから、今後も運行を継続する。
- ・②曾根宝殿、③曾根高砂ルートは、各指標（平均乗車密度、収支率、利用者1人あたり行政負担額）を考慮すると、さらなる利用促進策の検討・推進が必要である。
- ・③高砂循環、④北浜ルートは、利用低迷に伴う地元説明や利用促進PRを行ってきたが、各指標の改善は見込めず目標利用者数を大幅に下回っていることから、「休止」に向けた検討が必要である。

報告4 高砂市高齢者福祉タクシー料金助成事業の拡充について(案)

令和3年10月1日に開始した高砂市高齢者福祉タクシー料金助成事業について、より高齢者の社会参加と自立の促進を図るため、令和5年度から助成対象者の拡充を予定。

現行制度

高砂市障害者（児）福祉タクシー料金助成事業の助成対象にならない者で、①～③を全て満たす者に対し、タクシー1乗車当たり500円として使える助成券を年間24枚交付する。

- ①65歳以上の者
- ②介護保険の要介護1から要介護5の認定を受けている者
- ③市民税非課税世帯に属する者



令和5年度からの拡充予定制度

高砂市障害者（児）福祉タクシー料金助成事業の助成対象にならない者で、①～③を全て満たす者に対し、タクシー1乗車当たり500円として使える助成券を年間24枚交付する。

- ①65歳以上の者
- ②介護保険の要支援1から要介護5の認定を受けている者
または、運転経歴証明書（※）を所持している者
- ③市民税非課税世帯に属する者

（※）運転経歴証明書とは

運転免許証を過去5年以内に自主返納した者や、運転免許証の更新を受けずに失効した者（失効後5年を経過していない者）が交付を受けることができる証明書。

警察署や免許更新センターで交付申請ができ、交付手数料は1,100円。



出典：兵庫県警ホームページ

